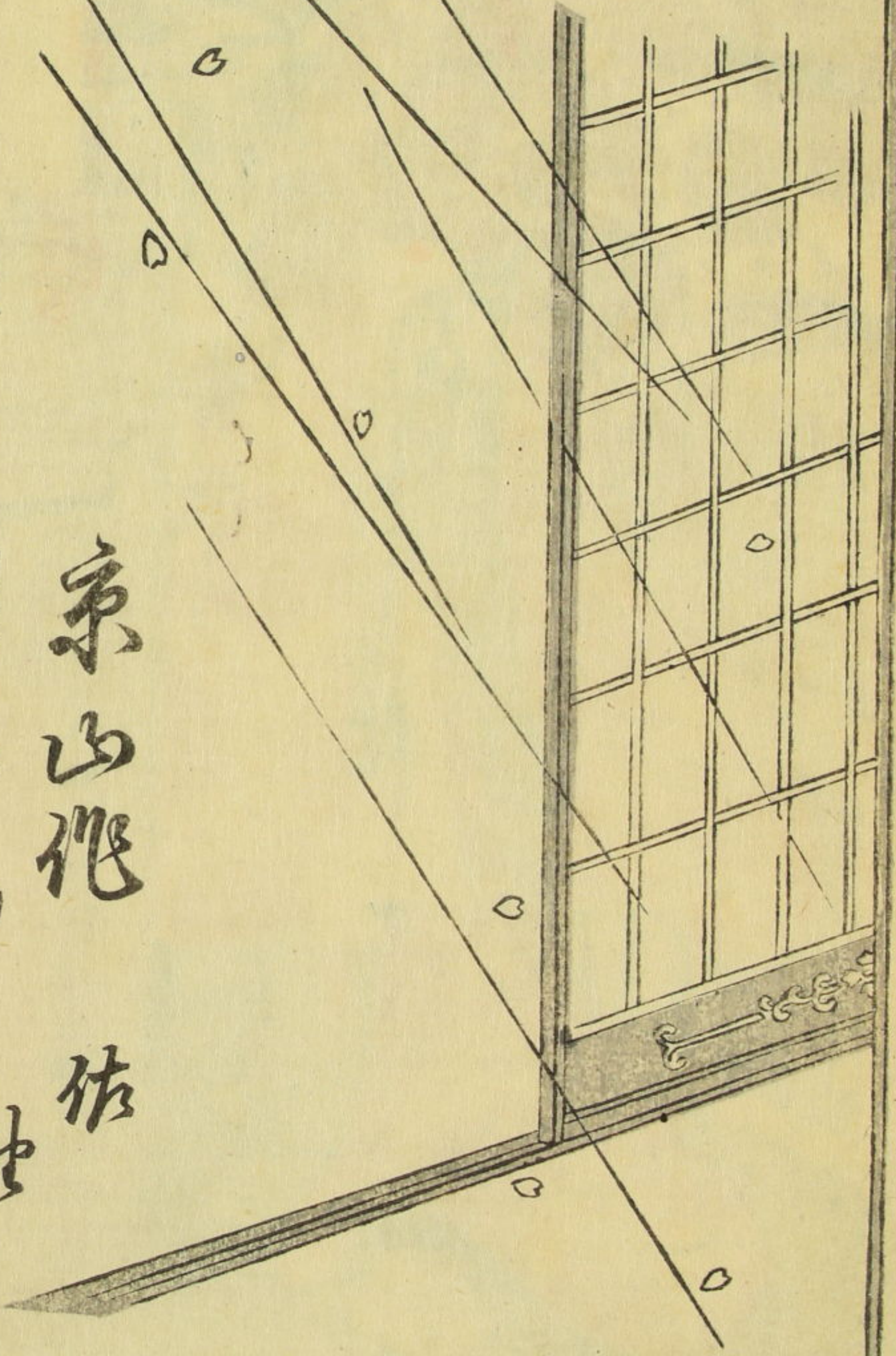


門へ13  
3753  
琴 12 卷

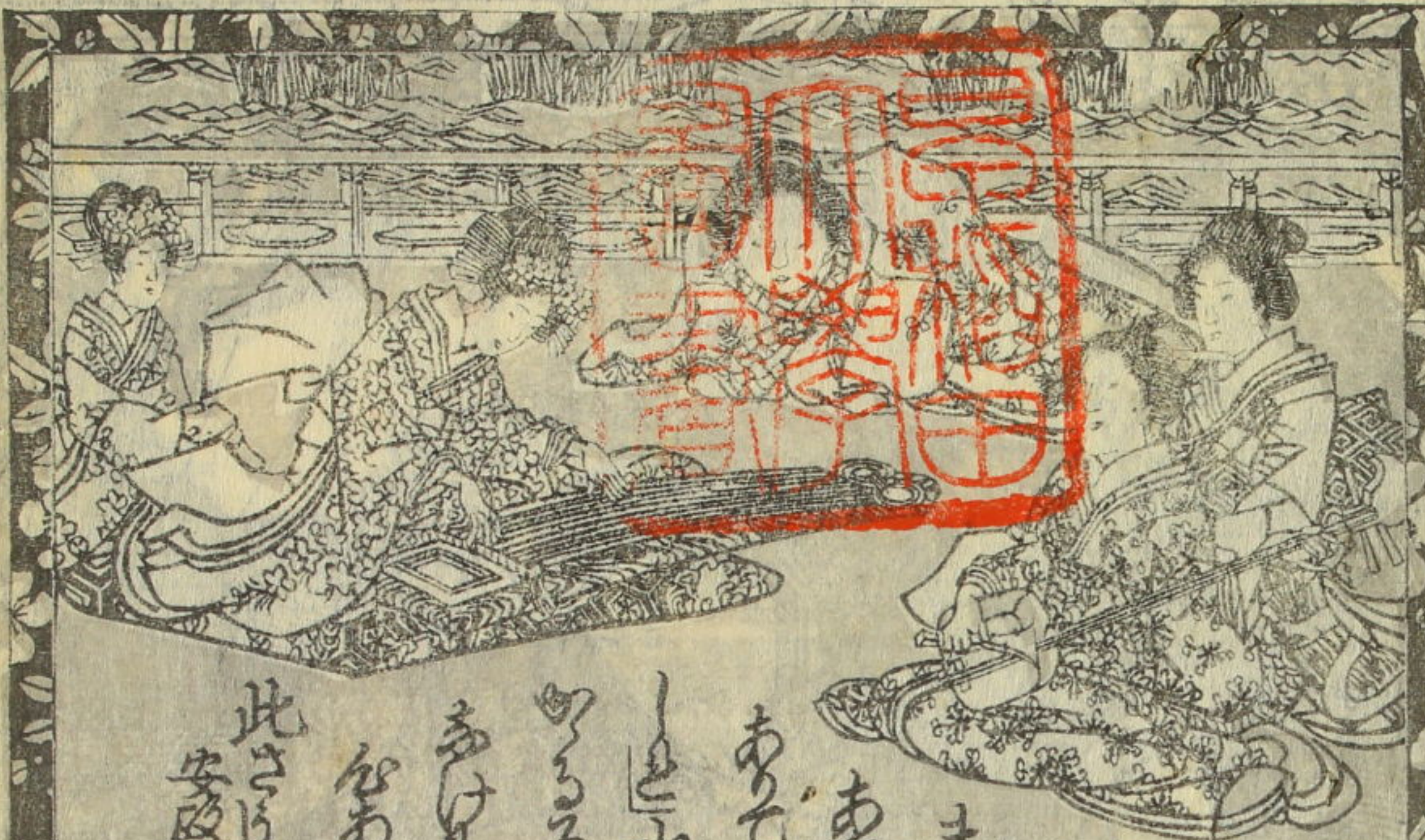
琴 夢 人 義 録

十五 編 上 之 巻

東山 伴 佐 板 毒 壯



五 一 時



長入 録十五

此冊子かきをりてとてしうきせんと書案  
ふけらるしきとわたりしりつりて書  
室よきとてしりてしりてしりてしりて  
さあつりてしりてしりてしりてしりて  
まゝとてしりてしりてしりてしりてしりて  
あてあるたごよび人録と冊子とてしりて  
あてしりてしりてしりてしりてしりてしりて  
しりてしりてしりてしりてしりてしりてしりて  
しりてしりてしりてしりてしりてしりてしりて  
あけしりてしりてしりてしりてしりてしりてしりて  
あてしりてしりてしりてしりてしりてしりてしりて  
此はしりてしりてしりてしりてしりてしりてしりて  
安政四年の五月五日

八十九 東庵京山

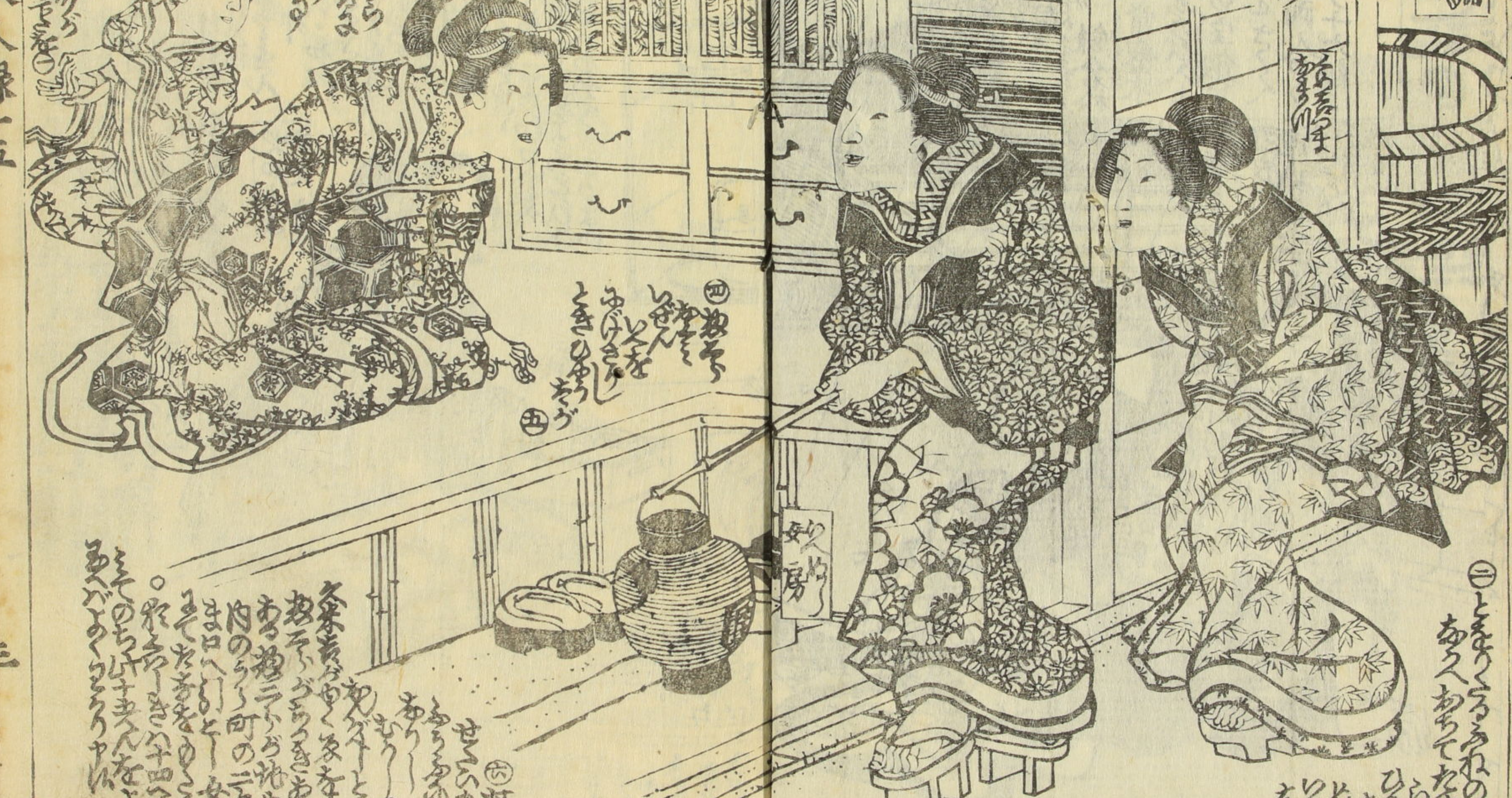




美人録十五編

人々の世にまろ  
 村中馬の二ひき  
 おおむねのいま  
 百代のさうか  
 ちりぬぐひの  
 けおねの母  
 初めより  
 ひやうちの  
 つまのせ  
 又おねの母

ゆけらるる  
 おねの母  
 つまのせ  
 ひやうち  
 つまのせ  
 ひやうち  
 つまのせ  
 ひやうち



とまのせ  
 あらわちてたまひ

ひやうち  
 つまのせ  
 ひやうち  
 つまのせ

とまのせ  
 ひやうち  
 つまのせ  
 ひやうち

とまのせ  
 ひやうち  
 つまのせ  
 ひやうち  
 つまのせ  
 ひやうち



① ちやうどおのふり。あつていふのふり  
 ちやうどおのふり。ちやうどおのふり  
 ちやうどおのふり。ちやうどおのふり  
 ちやうどおのふり。ちやうどおのふり  
 ちやうどおのふり。ちやうどおのふり

② ちやうどおのふり。あつていふのふり  
 ちやうどおのふり。ちやうどおのふり  
 ちやうどおのふり。ちやうどおのふり  
 ちやうどおのふり。ちやうどおのふり  
 ちやうどおのふり。ちやうどおのふり

③ ちやうどおのふり。あつていふのふり  
 ちやうどおのふり。ちやうどおのふり  
 ちやうどおのふり。ちやうどおのふり  
 ちやうどおのふり。ちやうどおのふり  
 ちやうどおのふり。ちやうどおのふり



④ ちやうどおのふり。あつていふのふり  
 ちやうどおのふり。ちやうどおのふり  
 ちやうどおのふり。ちやうどおのふり  
 ちやうどおのふり。ちやうどおのふり  
 ちやうどおのふり。ちやうどおのふり

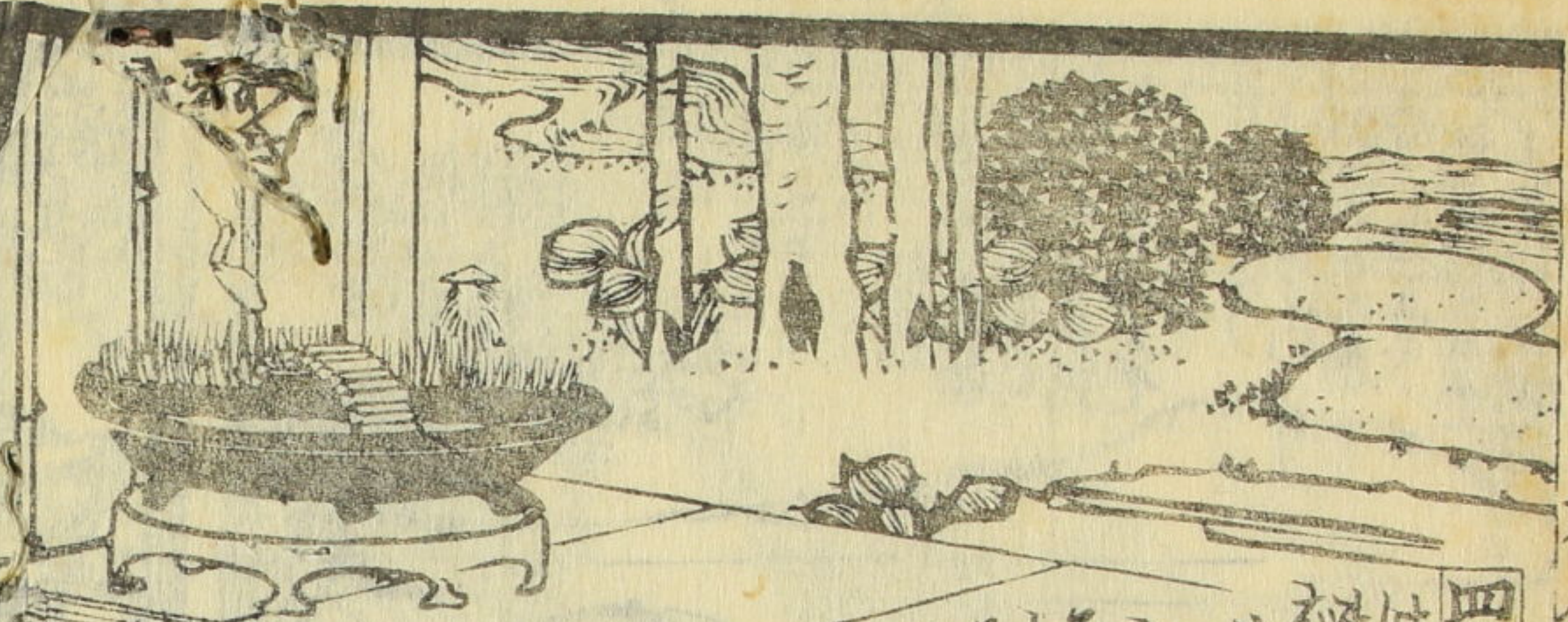
① 花を  
 ② 花を  
 ③ 花を  
 ④ 花を  
 ⑤ 花を  
 ⑥ 花を  
 ⑦ 花を  
 ⑧ 花を  
 ⑨ 花を  
 ⑩ 花を  
 ⑪ 花を  
 ⑫ 花を  
 ⑬ 花を  
 ⑭ 花を  
 ⑮ 花を  
 ⑯ 花を  
 ⑰ 花を  
 ⑱ 花を  
 ⑲ 花を  
 ⑳ 花を  
 ㉑ 花を  
 ㉒ 花を  
 ㉓ 花を  
 ㉔ 花を  
 ㉕ 花を  
 ㉖ 花を  
 ㉗ 花を  
 ㉘ 花を  
 ㉙ 花を  
 ㉚ 花を  
 ㉛ 花を  
 ㉜ 花を  
 ㉝ 花を  
 ㉞ 花を  
 ㉟ 花を  
 ㊱ 花を  
 ㊲ 花を  
 ㊳ 花を  
 ㊴ 花を  
 ㊵ 花を  
 ㊶ 花を  
 ㊷ 花を  
 ㊸ 花を  
 ㊹ 花を  
 ㊺ 花を  
 ㊻ 花を  
 ㊼ 花を  
 ㊽ 花を  
 ㊾ 花を  
 ㊿ 花を



① 花を  
 ② 花を  
 ③ 花を  
 ④ 花を  
 ⑤ 花を  
 ⑥ 花を  
 ⑦ 花を  
 ⑧ 花を  
 ⑨ 花を  
 ⑩ 花を  
 ⑪ 花を  
 ⑫ 花を  
 ⑬ 花を  
 ⑭ 花を  
 ⑮ 花を  
 ⑯ 花を  
 ⑰ 花を  
 ⑱ 花を  
 ⑲ 花を  
 ⑳ 花を  
 ㉑ 花を  
 ㉒ 花を  
 ㉓ 花を  
 ㉔ 花を  
 ㉕ 花を  
 ㉖ 花を  
 ㉗ 花を  
 ㉘ 花を  
 ㉙ 花を  
 ㉚ 花を  
 ㉛ 花を  
 ㉜ 花を  
 ㉝ 花を  
 ㉞ 花を  
 ㉟ 花を  
 ㊱ 花を  
 ㊲ 花を  
 ㊳ 花を  
 ㊴ 花を  
 ㊵ 花を  
 ㊶ 花を  
 ㊷ 花を  
 ㊸ 花を  
 ㊹ 花を  
 ㊺ 花を  
 ㊻ 花を  
 ㊼ 花を  
 ㊽ 花を  
 ㊾ 花を  
 ㊿ 花を



① 花を  
 ② 花を  
 ③ 花を  
 ④ 花を  
 ⑤ 花を  
 ⑥ 花を  
 ⑦ 花を  
 ⑧ 花を  
 ⑨ 花を  
 ⑩ 花を  
 ⑪ 花を  
 ⑫ 花を  
 ⑬ 花を  
 ⑭ 花を  
 ⑮ 花を  
 ⑯ 花を  
 ⑰ 花を  
 ⑱ 花を  
 ⑲ 花を  
 ⑳ 花を  
 ㉑ 花を  
 ㉒ 花を  
 ㉓ 花を  
 ㉔ 花を  
 ㉕ 花を  
 ㉖ 花を  
 ㉗ 花を  
 ㉘ 花を  
 ㉙ 花を  
 ㉚ 花を  
 ㉛ 花を  
 ㉜ 花を  
 ㉝ 花を  
 ㉞ 花を  
 ㉟ 花を  
 ㊱ 花を  
 ㊲ 花を  
 ㊳ 花を  
 ㊴ 花を  
 ㊵ 花を  
 ㊶ 花を  
 ㊷ 花を  
 ㊸ 花を  
 ㊹ 花を  
 ㊺ 花を  
 ㊻ 花を  
 ㊼ 花を  
 ㊽ 花を  
 ㊾ 花を  
 ㊿ 花を



四段 かくて物さるる月なきて  
 けのつりの目とそまらふたて  
 ねんころけの酒肴とこのへんひ  
 ねんころけの酒肴とこのへんひ  
 ささりまらけらけらあはれもて  
 せんりまらけらけらあはれもて  
 ささりまらけらけらあはれもて  
 せんりまらけらけらあはれもて  
 ささりまらけらけらあはれもて  
 せんりまらけらけらあはれもて

かきつり  
 ちひのりり  
 つのりり  
 ねんころけ  
 ささりまらけらけらあはれもて  
 せんりまらけらけらあはれもて  
 ささりまらけらけらあはれもて  
 せんりまらけらけらあはれもて  
 ささりまらけらけらあはれもて  
 せんりまらけらけらあはれもて



内 けのつり  
 つのりり  
 ささりまらけらけらあはれもて  
 せんりまらけらけらあはれもて  
 ささりまらけらけらあはれもて  
 せんりまらけらけらあはれもて  
 ささりまらけらけらあはれもて  
 せんりまらけらけらあはれもて

二 依りてのなりて  
 けのつりの目とそまらふたて  
 ねんころけの酒肴とこのへんひ  
 ねんころけの酒肴とこのへんひ  
 ささりまらけらけらあはれもて  
 せんりまらけらけらあはれもて  
 ささりまらけらけらあはれもて  
 せんりまらけらけらあはれもて

三 かくて物さるる月なきて  
 けのつりの目とそまらふたて  
 ねんころけの酒肴とこのへんひ  
 ねんころけの酒肴とこのへんひ  
 ささりまらけらけらあはれもて  
 せんりまらけらけらあはれもて  
 ささりまらけらけらあはれもて  
 せんりまらけらけらあはれもて  
 ささりまらけらけらあはれもて  
 せんりまらけらけらあはれもて







Canon 〇主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人



①主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人

主人

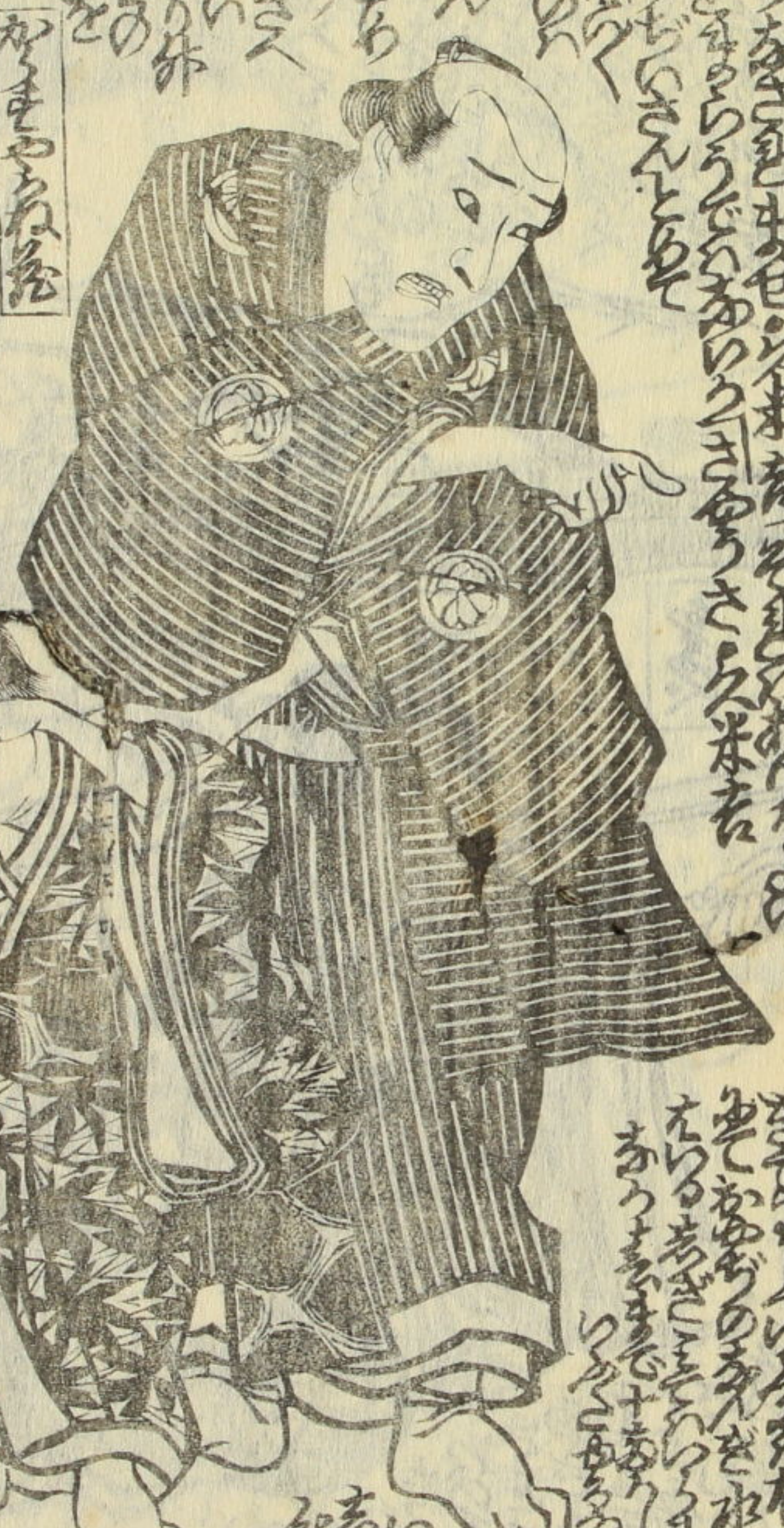
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人

主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人

主人

主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人

主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人



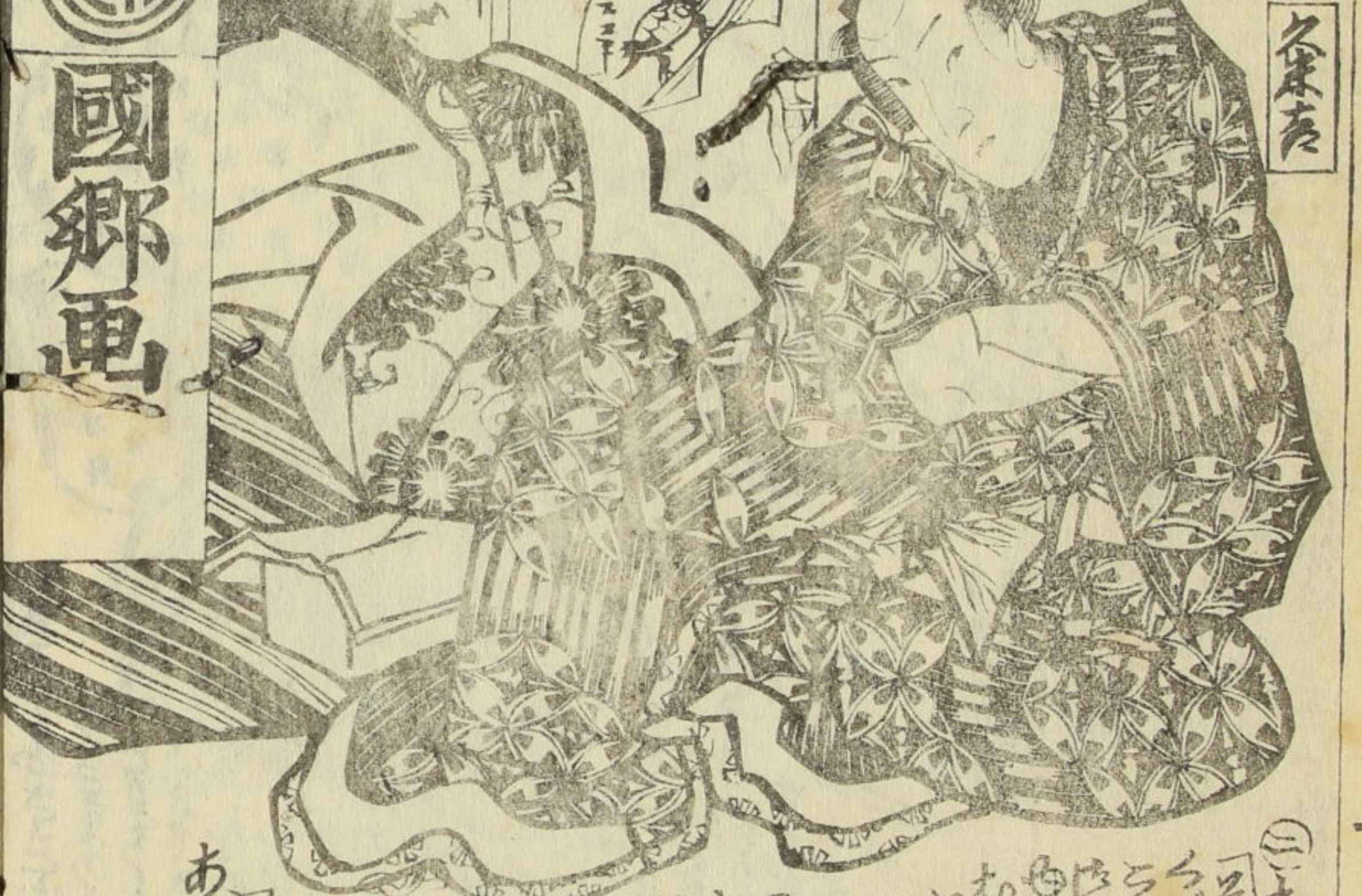
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人

主人

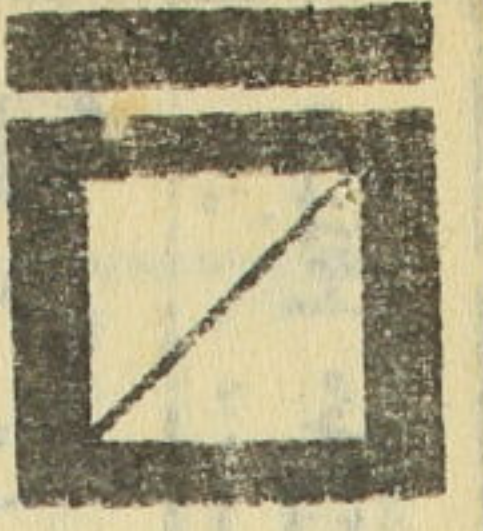
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人  
主人 〇主人 〇主人



その二 安政四年己酉八月十九日 養心堂主人 謹啓  
 此の御藥種丸散丹圓諸合藥精製吟味別而念入申候  
 其外亦可藥最上極品貯且定價廉直也



安政四年己酉八月十九日 養心堂主人 謹啓  
 此の御藥種丸散丹圓諸合藥精製吟味別而念入申候  
 其外亦可藥最上極品貯且定價廉直也



諸合藥

紀伊國屋丸兵衛

江ノ内大通宇田川町西側中程

御藥種丸散丹圓諸合藥精製吟味別而念入申候  
 其外亦可藥最上極品貯且定價廉直也

家傳救命丸 大人小兒万病急症を救ふ至聖藥也

牛黄丸 大人小兒男婦老幼急症を救ふ至聖藥也

頭痛散 頭痛を治す至聖藥也

養心堂主人 謹啓

續後撰

中暑和中飲霍亂暑あくる

加正救ハ移菊四季の作服

清血散りは新之若くも

一粒丸大人か見おし

御白体は袂入の掛香の草司入

即女一切はり

御薰物は進物に流るる出ま仕り

不淨除淨火鉢

雷除神丹神丹ハせり

神神の秘法あり

旅行懐中御用意意味

御香木古伽羅

塗香油右六国七種組合代金壹分より奉り

紅藍吏部 根源實此 十一編より十三編迄 仙果作 當午春賣出 國貞画

十編 梭手兒松崎の邸で女中小島等に嘲弄せらるる憤不堪ぞ入水せんと

して實父壽祖に留る。此式部野洲子鳥兒と共に北野詣の折柄大藏種村が

逼りに到り。末小棄童に呂救免を遇ひ近江へ歸る途中亦自己も知らぬ親小會條にて

都て花麗る物語 十二編 棄童式部の危難を救ふ種村本心と失ひ大式部と合歡の

可笑味此事より式部夫小疑 野洲子壽祖に祈らるる奇病小苦 終小

死に至る等の悲哀を條多 十三編 鳩兒式部を姉の讐にて害を加へんとす

大貳三位の誕生梭手兒嫉妬の惡念宣孝小殺すを宣孝も金創重りて落命

又北越ふ赴きける惟規の事を細よ記 少將の君の貞操と説く 十四編以下

の崖畧ハ別小記すべし 芝神明前 喜鶴堂主人敬白

山東庵京山作  
立川齋國郷画





ひきんぐく  
十五へん下の  
村き

上の...  
おの...  
ひきんぐく...  
十五へん下の...  
村き...  
おの...  
ひきんぐく...  
十五へん下の...  
村き...

義人録



理と  
夢  
英人  
録  
京山作  
玉川馬

下  
之  
貴  
春坊  
喜輝

ひきんぐく  
十五へん下の  
村き  
おの...  
ひきんぐく...  
十五へん下の...  
村き...

九折 かくては

あつらひのなをきく  
くめをきくをきく  
ついでをきく  
たぢけをきく  
すてのあつらひ

おとせ

るまごのふとせ  
ごまをのふとせ  
万木かりたるを  
すてをのふとせ  
○さてはまの  
おとせのふとせ  
さあ、さあ、さあ、さあ  
さあ、さあ、さあ、さあ  
さあ、さあ、さあ、さあ  
さあ、さあ、さあ、さあ



四季のふとせ

春のふとせ  
夏  
秋  
冬

おとせ

たのふとせ  
さあ、さあ、さあ、さあ  
さあ、さあ、さあ、さあ  
さあ、さあ、さあ、さあ  
さあ、さあ、さあ、さあ

おとせ

さあ、さあ、さあ、さあ  
さあ、さあ、さあ、さあ  
さあ、さあ、さあ、さあ  
さあ、さあ、さあ、さあ  
さあ、さあ、さあ、さあ  
さあ、さあ、さあ、さあ  
さあ、さあ、さあ、さあ  
さあ、さあ、さあ、さあ  
さあ、さあ、さあ、さあ  
さあ、さあ、さあ、さあ





○さきおめをせうがひ  
 ちちのあつしめ  
 中枝のふとうを  
 ひらくおころ  
 くらぬらぬら  
 けりおそ  
 おろし  
 ちち



女房

又

○ときめをいふらん  
 馬ぞくのりしてし  
 松屋のしむをより  
 女房をよむ久も  
 ぬてきこ  
 むいりうらうら

② 三十三  
 おろし  
 おろし  
 おろし  
 おろし

用  
 おろし  
 おろし  
 おろし

○ときめをいふらん  
 馬ぞくのりしてし  
 松屋のしむをより  
 女房をよむ久も  
 ぬてきこ  
 むいりうらうら



○さきおめをせうがひ

○さきおめをせうがひ  
 ちちのあつしめ  
 中枝のふとうを  
 ひらくおころ  
 くらぬらぬら  
 けりおそ  
 おろし  
 ちち

東海道金十郎

① けいひちちちりつ女房おたの  
 おおあつちちちりつ女房  
 おおあつちちちりつ女房  
 おおあつちちちりつ女房  
 おおあつちちちりつ女房

② けいひちちちりつ女房おたの  
 おおあつちちちりつ女房  
 おおあつちちちりつ女房  
 おおあつちちちりつ女房  
 おおあつちちちりつ女房



③ けいひちちちりつ女房おたの  
 おおあつちちちりつ女房  
 おおあつちちちりつ女房  
 おおあつちちちりつ女房  
 おおあつちちちりつ女房



④ けいひちちちりつ女房おたの  
 おおあつちちちりつ女房  
 おおあつちちちりつ女房  
 おおあつちちちりつ女房  
 おおあつちちちりつ女房

⑤ けいひちちちりつ女房おたの  
 おおあつちちちりつ女房  
 おおあつちちちりつ女房  
 おおあつちちちりつ女房  
 おおあつちちちりつ女房

養父録十五

十四















